

# 北九州市受入条件の履行に 係る国の取組について

環境省  
平成27年1月

# 1. 処理の安全性確保

PCB廃棄物処理施設における処理が、引き続き安全を第一としつつ計画的に行われるようJESCOを指導監督するとともに、処理の安全性確保に必要な措置を講じる。

## 処理の安全性の確保に向けたJESCOへの指導監督

- 全事業所で発生した過去のトラブルの内容及び対策の再点検
- トラブルに係る情報の全事業所への水平展開 【受入条件1. (1) ①・2. (2) 関係】
- 長期保全計画の策定及びこれに基づく設備・機器の更新補修の確実な実施 【1. (1) ②】
- 広域化するPCB廃棄物の運搬に係る安全対策の堅持 【1. (1) ③、④】 等

## 処理の安全性確保に必要な措置

- JESCOの処理施設の点検・整備及び更新に対する国庫補助事業 【1. (1) ②】
- PCBの広域処理に係る北九州市内の安全な輸送路の維持・確保に対する国庫補助事業 等  
【1. (1) ⑤】

## 災害対策

- 災害に係る最新の情報の把握、JESCOとの共有
- JESCOにおける災害対策に係る最新の科学的知見を踏まえた追加措置の実施 等  
【1. (1) ⑥】

## 2. 期間内での確実な処理

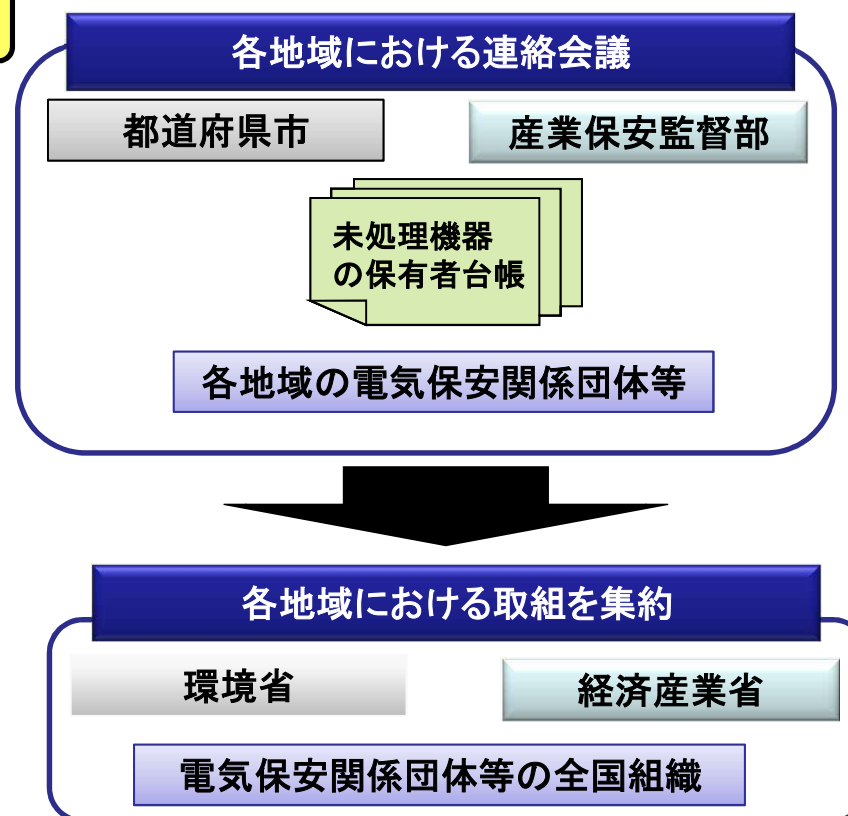
計画的処理完了期限(北九州事業においては、高圧トランス・コンデンサ等:平成31年3月31日、安定器等・汚染物:平成34年3月31日)の一日も早い達成に向け、国、都道府県市、JESCO等の関係機関が、緊密な連携の下、協力してPCB廃棄物の処理に取り組む。

### 関係者の連携体制の構築による早期処理の推進

- 未処理機器の所有者台帳(リスト)を作成するための掘り起こし調査マニュアルを作成し都道府県市担当者説明会を開催(平成26年8月)、都道府県市に通知(平成26年9月)【2. (3) ③】
- これらを踏まえ、平成27年度から都道府県市における調査実施が本格化する見込み。
- 調査の実施及び保管事業者への指導・普及啓発が効果的・効率的に行われるよう、関係機関による連絡会議を早急に設置(本年2月に第1回連絡回開催予定)するとともに、これを定期的に開催し、今後の取組を計画的に実施・レビューする。  
【2. (3) ①、②】
- 毎年度、掘り起こし調査の実施状況を調査し、結果を公表する。【2. (3) ②】

### PCB処理の必要性に関する周知

- 環境省において、計画的処理完了期限内での早期処理等を重点的に普及啓発するため、パンフレットの作成(今年度中を目途)やホームページの拡充などを行う。【2. (3) ④】



### 3. 地域の理解

PCB廃棄物処理事業の実施状況等について、国として地元地域に対する説明を行うとともに、JESCOにおいて、地域住民等の関係者とのコミュニケーションを通じ、事業に対するより一層の理解を得ることに努めるよう指導監督する。

北九州市をはじめとする地元地域の重要な貢献を認識し、PCB廃棄物の円滑な処理など、可能な限り地元地域に協力する。

#### 国及びJESCOによる情報公開

- 北九州PCB廃棄物処理事業の責任主体として、定期的に処理の安全性や進捗状況等について地元地域への説明を行うなど、積極的な情報公開に努めていく。（今年度は1月19日に地元説明を実施。）【3.（1）】

#### 地元地域との交流等に向けたJESCOへの指導監督

- 地元住民に対する施設見学や事業内容等の説明の機会の設定などの積極的な情報公開
- 地元企業として、地元自治会に対する事業進捗状況等の定期的な報告、地域行事への積極的な参加などを通じた地元地域との交流の促進【3.（1）】
- PCB処理事業における処理施設の運転管理、点検・補修等の市内企業への委託などを通じた地元企業、人材を活用による事業の推進等【3.（2）】

#### 都道府県市の地元地域への協力

- 各都道府県における地元地域への交流、協力を、都道府県PCB廃棄物処理計画に位置付けつつ行うよう要請【3.（3）】